

単元名 1 広がる学びへ ―漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりすることができる。  
(3) 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

### 標準的な展開例

11210107\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 導入の例を基に、熟語の構成について知り、練習問題に取り組む。</p> <p>★導入の例を基に、熟語の構成について考えよう。</p> <p>○教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。</p> <p>○練習問題に取り組む。</p> <p>○p. 40「漢字に親しもう1」に取り組む。</p>	<p>・漢字検定にも必ず出題される問題である。漢字検定に興味をもっている生徒もいると思うので、その旨を伝えとよい。</p> <p>・教科書の問題だけでなく、漢字検定等の問題にも取り組ませるとよい。</p> <p>【評】練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・言葉の意味が分からないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。</p>

### 【 備 考 】

第1学年までに学習してきたことを振り返り、第2学年の学習に新たな気持ちで臨むことができるような作品が取り上げられている。ここでは、親しみやすい詩や物語、古典などの文章を読んだり、職業に関する情報を集めたりして、これまでに学習したことを振り返り、今後の学習の見通しをもたせたい。

言語活動としては、詩や物語、古典などの文章に触れることにより、言葉の豊かさに気付かせ、その場に合った表現ができるようにしていきたい。このことは、国語学習だけにとどまらず、日常生活の中でもその場に合った豊かな表現活動ができる礎になるとよい。

また、「アイスプラネット」では、ぐうちゃんの僕に対する思いはこの年代の子どもたちにとっても望まれることであり、自分のこれまでの生き方や考え方を振り返らせるよい機会となることだろう。これは、道徳のB－(9) 相互理解・寛容にあたる。